

気づき、考え、実行する さし人つつしん



学校HP

唐津市立佐志小学校
学校だよりNO.16
令和5年11月22日
文責：校長 松野克己

唐津市児童生徒音楽祭

唐津市児童生徒音楽祭が11月14日(火)に肥前町にあるハーモニーで行われました。この音楽会には市内の学校が輪番で出場することになっており、今年度は佐志小が出場校となっていました。白羽の矢が立てられた2年生は、勝野ポピュラー音楽教室の勝野先生のご指導で練習を重ねてきました。前日のリハーサル後に「笑顔で楽しんでおいで。」という言葉をかけましたが、本番もその通り、明るく元気な歌声で、聴衆をほっこりした気持ちにさせてくれました。会場に着いた時、広くきれいなホールに入って緊張した様子の子もいましたし、男子トイレの便器の多さに感嘆の声を上げている子もいました。

ご存じの通り、全校的にインフルエンザの罹患者が増え、特に2年生は本番当日、全部で15人がお休みという状況だったので、参加見合わせも考えたのですが、登校してきた児童の中に体調の悪そうな子はいなかったため予定通り参加しました。見に来られた親御さんも多く、子ども達にとってはいい思い出になったと思います。参加できなかった子ども達は残念でしたが、チャンネルからついで放映されると思いますから、お友達の歌っている様子を見て、自分も参加した気持ちになってくれたらと思っています。



1年生教室お引っ越し



1学年1クラスの1年生。最大37人の児童が一つの教室で過ごしますから、他の学年に比べると教室が狭く感じます。ロッカーの荷物を一斉に取る時などは、かなり混雑してしまいます。このような状況から、1階音楽室を1年生教室として使うこととしました。(本校には3階にも音楽室があるので、他の学年への影響はありません。)

級外職員が音楽室の荷物を準備室に動かしたり、ロッカーにする棚を整備したりして、この度引っ越しが完了しました。写真のように後ろに十分なスペースがあり、広々とした感じになりました。12月に授業参観を予定していますから、お時間があればご覧においでください。なお、とりあえず今年度中はここを1年生教室としますが、冷房設備がないこともあり、来年度については未定です。

4年生命の授業

11月15日(水)に4年生が命の授業を受けました。たなベクリニックの方にお母さんのおなかの中で育つ赤ちゃんの成長の様子や命の大切さについて教えていただきました。たくさんの教材を準備していただき、子ども達は興味をもって学んでいました。終わった後に、講師の方が「子ども達がたくさん意見を言うってくれるので、とてもやりやすかった。」と褒めていらっしゃいました。



3年生・アクロバット+クジラ



11月17日(金)、3年生が「VIVO(ビーボ)サーキットパーク・運動神経が良くなるトレーニング」に取り組みました。このVIVOというのは、インターハイや国体の男子新体操で常に上位の成績を残している神埼清明高校OBの方によるアクロバットパフォーマンスチームです。この企画は、遊び感覚で楽しく運動をするサーキット式トレーニングで、3年生の子ども達は様々な器具を使った運動を楽しむことができました。

まず、自己紹介代わりに空中回転を見せてくれたのですが、写真で分かるでしょうか。この高さ……。歓声があがるというより、子ども達は目の前の出来事にあっけにと取られてました。その後、下の写真のように、いろんな器具を使った運動を楽しんでいました。体育の授業の参考にもなった活動でした。



次の週の20日(月)には、地引き網やワカメ栽培で5年生がお世話になっている玄海水産振興センターの梅田さんに来ていただき、クジラ教室をしました。この時、私は出張で不在だったので、3の2担任の井本先生にレポートしてもらいました。

クジラの生態や種類、クジラを捕獲した後の活用などいろいろなことについてお話をいただきました。最大体長が4mを超えるものが「クジラ」、4mまでのものが「イルカ」と呼ばれるのだそうです。その違いに子どもはとても驚いていました。捕獲後のクジラは、クジラ肉もそれ以外のものも捨てる場所がないほど活用されているようで、食用以外では、靴べらやネクタイピンなどにも加工されているそうです。また、子ども達から「クジラの肉の中で一番おいしいのはどこですか」という質問が出ると、「赤身、お酒のつまみならミンクベーコンや臍臓がおすすめ」と教えていただきました。最後には、「クジラは海からの恵みなので、必要以上にとらず、とったものは極力残さずに使うようにしています。みなさんも、近くの川や湖、海を大切にしてくださいね。」という言葉をいただきました。佐志の海にもクジラはいるそうです。ぜひ、子ども達と一緒に探されてみてください。



6年生薬物乱用防止教室

が、こういう心身に害を与える物が配られていたということに驚きました。また「警察密着24時」といったような番組を見ると、薬物が極めて簡単に手に入ることが分かります。この時も薬物の心身に与える影響の恐ろしさとともに、薬物が決して遠い世界の出来事ではないことや、断る勇気の大切さも伝えてもらいました。唐津市は薬物違法所持の検挙数が多いということも聞きました。例えば、深夜徘徊などは、薬物に関わるリスクが非常に大きくなります。小学生の時から、このような学習をしておくことはとても大切だと思います。

11月17日(金)に6年生は薬物乱用防止教室を校医の藤原雄先生に行っていただきました。最近「大麻グミ」がマスコミでよく話題になります

